

センター通信

2025年4・5月〔第285号〕

Create(創造), Challenge(挑戦), Collaborate(協働)を大切に

発行所

広島市就労支援センター

(社会福祉法人広島市手をつなぐ育成会受託)

TEL (082) 537-1331

FAX (082) 537-1332

E-mail: si-jusan@gaea.ocn.ne.jp

<http://h-shisyurou.jp/>

新年度がスタートしました。各種イベントが新しく開催されたり、復活したりで広島市就労支援センターも出店支援等で忙しく過ごしています。各企業様からの、内職や下請けの依頼も増えていきます。事業所の利用者さん方の工賃向上に向けて今年度も頑張っていきたいと思っています。広島市就労支援センターへのご協力をよろしくお願いいたします。

令和7年度広島市就労支援センター事業計画について

1 事業目的

広島市内の障害者就労支援施設等（以下、「就労支援施設等」という。）における仕事の受注拡大、製品の販路開拓及び新商品の開発等を図り、就労支援施設等における事業を振興し、施設利用者の「社会参加と自立」を支援する。

2 重点目標

- (1) 発注者及び就労支援施設等のニーズにこたえる。
- (2) 就労支援施設等から信頼されるセンターを目指す。
- (3) イベント等への出店販売が円滑に実施できるように支援する。
- (4) 利用者の工賃の向上を目指すため、就労支援施設等における受注の拡大を目指す。

3 令和7年度の重点取組

- (1) 昨年度より、各種イベント等が復活したり、新しいイベントが開催されたりしている。そうした状況の中で、コロナウイルスまん延防止策により、減少した出店販売の機会を回復させるために販路の開拓（企業・団体への働きかけ）を図る。
- (2) 利用者の工賃向上を目的とし、業務受注のための営業活動を強化することにより、受身的受注から積極的受注へ転換し、就労支援施設等における業務の受注拡大に係る支援の充実を図る。

- ・ 受発注のマッチングによる支援
- ・ 受注者（就労支援施設等）の情報収集・整理
- ・ 受注のための営業活動、発注者（企業・団体等）のニーズに関する情報収集
- ・ 共同受注の機能強化
- ・ 発注者（企業・団体等）のニーズ分析と受注者（就労支援施設等）への提案
- ・ 地域に根ざした伴走型の障害者就労支援体制による支援

より高い工賃が期待できる業務（例えば、デジタル化業務など）を広島市内の企業等から安定的に受注できるよう、広島市と連携を密にしながら受注体制（仕組み）を整備し、就労支援施設等で働く障害者の就労機会の確保・拡大、経済的自立の促進を図る。

※上記の取組を効果的に実践するために、運営協議会部会に助言を求める。

重点取組の（１）については、この２年間、無印良品・イオンモール広島府中等々取組の中で増やしてきましたが、今年度も更に開拓に努めていきます。既に、新たに「比治山大学」、「広島市の宿 相生」等での出店販売や委託販売が実現しつつありますが、現在調整中の販売も含めて更に販路拡大

に向けて努力していきます。

（２）については、令和４年度から広島市就労支援センターの機能強化のため追加された内容です。コロナ禍で、内職・下請けによる収入が不安定になっている中、利用者の工賃の安定・向上を目指して、受発注のマッチングや受注単価の調整など、専門性の高い営業業務を遂行できる企業経験を有する常勤の専任職員と事業所勤務の経験のある（受注拡大コーディネーター）を２名配置し、営業活動を強化することにより、就労支援施設等での更なる受注拡大を目指します。

尾崎基金 販路開拓・技術支援アドバイザー派遣事業

令和７年２月２５日（火）総合福祉センターにおいて、令和６年度 尾崎基金「販路開拓・技術支援事業」の報告会を開催しました。

今年度は、「ポレポレファクトリー」と「ディーセント高陽」に新居敏春氏（新商品開発コンサルタント）が「こもれび」と「八木園」に加藤秀樹氏（ベクトリード代表）が年７回各事業所へ出向き、指導助言をしてくださいました。４事業所が、１年間の取組の経過とその成果を発表しました。各事業所の発表の概要をお伝えします。



「ポレポレファクトリー」（発表；菊田 順一 氏・小林 慶太 氏） テーマ「商品開発とブランド力強化」

【相談内容】・シルクスクリーンについて・レンチキュラーについて・販路拡大
・新規作業について・新商品検討・商標登録

【アドバイザー支援内容】・シルクスクリーンを造るために必要な材料の確認・レンチキュラー印刷を使用した商品の考案、検討・商標登録の申請の仕方、意匠登録の仕方を教えていただき、商品のブランド力を高め販売へつなげる・レンチキュラー印刷を用いてグッズを試作する。試作が出来たら、球団等へ企画提案を行う。販路を拡大し、製造を作業へつなげる。・シルクプリンターにてAEDの説明の布を作成

【結果・成果】・レンチキュラーを使用したグッズ（パッチンバンド）を作成し、販路を作る。具体的には球団やキャラクターのもの。反射板を使用し、防災にも繋がるもの。・シルクプリンターを使用し、AEDの説明をプリント。倒れている人へかけて揚げ、なおかつそこに使用に関する内容を印刷。・一目でAEDの使用が分かるようエチケットブランケットのようなものを作成。・出来た商品を商品登録することで事業を拡大することを目的とする。



「ディーセント高陽」（発表；福本 恵子 氏） テーマ「オリジナルブランド雑貨の販路拡大に向けて」

【相談内容】

・オリジナルブランドとして、アクセサリーや雑貨を制作、イベント販売を少し実施していたが、折角の作家さん監修作品なので、もっと、販路をつかっていきたい。

【アドバイザー支援内容】・デパートのコーナーとして交渉・風水に添ったデザインで多様に売る。・ネット販売を検討。・店舗での委託販売。・キャンドルの式での活用。

【結果・成果】・店舗での委託販売店が２，３か所見つかりました。今後も販路を増やしていきたいと思います。



「こもれび」(発表; 田辺 泰章 氏)

テーマ「キッチンカーを知ってもらい、必要とされるために」

【相談内容】・キッチンカーで月に何度か出店しておりますが、売り上げが伸びず、そもそもお客様があまり興味を持ってくれない状態となっております。また、出店先が少なく、販路を拡大するためのアドバイスを頂きたいです。また、広告塔の活用の仕方についてもアドバイスを頂きたいです。

【アドバイザー支援内容】・キッチンカーの販売メニューの問題点として、力を入れている部分のアピールが少なく、宣伝が足りていない。また、目玉であるコーヒーの回転率が悪く、1日の上限数が少ない。そのため、ニーズに合うような新しいサービスの形や販売方法、コーヒー以外のメニューの販売などのご提案。宣伝方法やアイキャッチについて改善。ポップについて、見直しとアドバイス(色使いや文面など)を頂きました。まだ作業所が出来ていないので成果は出ていないので結果は出ていないが構想はできている。

【結果・成果】・POPは刷新し、コーヒーについて、特別感は伝わりやすくなったと思われます。サイドメニューも見直し、ホットサンドとすぐにお出できるケーキに変更。チラシの内容変更やInstagramでの宣伝を積極的に行っております。まだ目立つ成果は出ておりませんが、問い合わせやチラシについての質問などは何件ありました。今後も継続していき、需要が増えるように努力していきたい。



「八木園」(発表; 政木 久美子 氏)

テーマ「木とアートの魅力を形に・・・」

【相談内容】・利用者のアートを活用してポストカードやカレンダーの作成をしているが、商品化したものを作りたいため、ノウハウの習得、アート作品の魅力を引き出せる商品開発を行いたい。

【アドバイザー支援内容】①円としての強みは?②「ニーズ・客層・販売ルート」を明確に!③商品の売りは何か・・・④パッケージは見た目が大事である。⑤データは・・・かならず残していく事

★以上のポイントを軸に試作をしていく

【結果・成果】ヒノキの木材を使用して「スマホホルダー」「キーホルダー」3種類の作品を作成することにした。「ヒノキの木材の効能」「利用者のアート」を商品の売りとして進めていく。実際に試作の段階ではあるがイベントに参加した際に販売し、受容や売上はどうか集計を市何を所品にするか絞っていった。パッケージも色塗りが得意な利用者にお願いし強みを生かしたものが出来た。3点をベースに利用者のアートが引き出せるよう今後も取り組んで行く。



事業所自主製品紹介コーナー

■事業所名：特定非営利活動法人 あおざり (地域活動支援センターⅢ型)

■電話番号：(082) 245-4808

■所在地：広島市中区光南1丁16-11-101号

あおざりは、精神障害のある人たちが集い、活動していく場として、2002年の8月広島市中区吉島東で設立されました。現在は、光南1丁目で日々活動しています。

仕事の内容は、トリートメントの貼付けやアルバムの組込などの請負作業と自主製品づくりを行っています。その中でも、フェルトで作ったお弁当箱セットは、製作を始めて20年の歴史があります。

下地を書く人、パーツを切る人、具材を縫う人、ボンドで貼



る人、箱に詰める人、在庫を数える人、バザーで販売する人など…。

これまで多くの人たちが、できること、できそうな作業に参加しながら、フェルトのお弁当箱作りに携わってきました。

あおぎりの製品は、製作に時間もかかり、大量生産できないものばかりですが、てまひまかけた手づくりのぬくもりをこれからも伝えていきたいと思います。

(支援員 玉井 利武)

■事業所名 社会福祉法人広島聴覚障害者福祉会 アイラブ作業所

■電話番号 082-248-0336 FAX 番号：082-236-1144

■所在地 広島市中区吉島西二丁目 3-22



アイラブ作業所では、国産のバターを使用した手作りクッキー、おりづる再生紙を使った仲間の絵が表紙のオリジナルノート、靴下の廃材のわっかを使って座布団や鍋敷きなどを作って販売しています。最近はプラバンのキーホルダーやビーズのアクセサリーを販売するようになりました。



どの製品も仲間が一つ一つ丁寧に心を込めて作っています。靴下わっかの製品は聴覚と視覚に障害がある盲ろうの仲間が編んだ作品もあり、ぜひ手に取って見ていただくと嬉しいです。

(生活支援員 山田 由香利)



アートな春のおひさまマルシェ 2025『広島三越販売会』

『アートな春のおひさまマルシェ2025』が、今年度も開催されます。

皆様、お誘い合わせの上是非ご来店ください。

事業所の製品と活動を広く県民に知っていただく場となるだけでなく、事業所の自主製品のクオリティを上げる機会にもなっています。

日時：4月16日(水)～4月22日(火)
10:30～19:30

場所：広島三越 (広島市中区胡町5-1)

主催：広島三越

共催：千羽鶴未来プロジェクト

・広島県就労振興センター

・広島市就労支援センター

事業所の利用者によるアート作品で作ったハンドタオルや千羽鶴再生紙グッズも販売しています。



フラワーフェスティバル 5月3日・4日・5日

5月3日（土）・4日（日）・5日（月）にフラワーフェスティバルが開催されます。ふれあい広場の出店事業所は27事業所です。各事業所の自主製品が販売されます。内訳を一部紹介すると木工製品、キノコ類、パン、クッキー、さおり織り製品、手芸品、コーヒー等、また、ふれあい広場ではスーパーボールすくい、綿菓子、カフェコーナーを開きます。参加団体の皆さんはゴールデンウィーク開催のフラワーフェスティバルに大変期待されて準備を進めておられます。3日とも10時30分～18時ごろ（ステージ終了まで）出店されます。是非ふれあい広場にお越しください。



広島市役所は火・金曜日、安佐北区役所等は火・木曜日に出店販売します！！

			広島市役所 1 階ロビー（東側）	
出店販売日			事業所（１）	事業所（２）
4月	8日	火	SOAR きつつき	おりづる作業所
	15日	火	ベーカリーノイエ	S.R.A 横川南
	18日	金	安芸の郷	上安作業所
	22日	火	ピース、ドリーム作業所	パンダハウス
	25日	金	とまとの木	LOVEART
5月	13日	火	SOAR きつつき	S.R.A 横川南
	16日	金	広島どんぐり作業所	上安作業所
	20日	火	広島市皆賀園	おりづる作業所
	23日	金	ピース、ドリーム作業所	とまとの木
	27日	火	もみじ作業所	Smile ふぁーむ
	30日	金	いしうちベーカリー	S.R.A 横川南
			安佐北区役所 1 階ロビー	安佐北区総合福祉センター 2 階
4月	3日	木	ベジモファーム B ひろしま	—
	8日	火	ラフォーレ高陽	
	10日	木	—	ベジモファーム B ひろしま
	15日	火	ふたつかの里	つなげよう。農ある暮らしと ICT
	17日	木	ベジモファーム B ひろしま	—
	22日	火	ラフォーレ高陽	可部つちくれの家
	24日	木	—	ベジモファーム B ひろしま
5月	1日	木	ベジモファーム B ひろしま	—
	8日	木	—	ベジモファーム B ひろしま
	13日	火	ラフォーレ高陽	—
	15日	木	ベジモファーム B ひろしま	—
	20日	火	ふたつかの里	つなげよう。農ある暮らしと ICT
	22日	木		ベジモファーム B ひろしま
	27日	火	ラフォーレ高陽	可部つちくれの家

ぜひ、お立ち寄りください。

市役所・安佐北区の販売はともに4月からスタートします。